



令和元年 12月20日(金) 第32号



あなたの周りには人がいる



来週の25日(火)には2学期の終業式を迎え、冬休みに入ります。「冬休みには楽しいことがいっぱいある♪」と今からワクワクしている人もいるのではないのでしょうか。確かに、どこかに出かけなくても、なんとなく世の中の“おめでとうムード”を感じて、気持ちも浮つきがちです。その意味で、大人も子どもも気をつけて過ごさなければ、“自分”を見失い、傷つけてしまう恐れがあることを自覚しておく必要があります。今日は、そういう話を《学年》の視点から述べようと思います。



【^{ぼうじゃくぶじん}傍若無人】という言葉があります。【^{かなたわ}傍らに^{ひとなきがごとし}人無きが若し】と読みますが、中国の故事が由来となった四字熟語(故事成語)です。「周りに誰も人がいないようだ」という元々の意味から、「(周りに誰も人がいないように) 自分勝手に振る舞うこと」という意味で用いられます。たとえば、静かな電車の中で大きな声でしゃべっている人や、路上に座り込んで飲み食いをしている人たちは、まさしくその“**傍若無人な振る舞い**”が、周りの人を不愉快な気持ちにさせます。では、なぜ傍若無人な振る舞いは人を不愉快にさせるのでしょうか？ その原因は、「**自分の存在が無視されている**」と感じることにあります。「無視をする」ことは、その人の存在を“無いもの”にすることなので、誰かに無視をされると誰でも不愉快になります。電車の中で大きな声でしゃべっている人や、路上に座り込んで飲み食いをしている人は、不特定多数の人を一気に無視しているのです。



《学年》の様子を見ていると、「周りの人が見ているのが気にならないのかな？」と心配することがあります。さすがに“傍若無人”とまではいいませんが、完全に自分が落としたゴミをそのまま放置する・トイレのスリッパを出船の位置に戻さない・何回も言われているのにベル着しない・自分のせいでやり直しになっているのにダルそうにする・日直や掃除の仕事をサボる(忘れる)などという人は、そんなキミを周りの人がどんな目で見ているかを考えてみてはどうでしょうか？ そして、そのゴミを拾っている人・スリッパを並べている人・ベル着している人(呼びかけている人)・やり直しの前から一生懸命にやっている人・サボった人(忘れた人)の分まで仕事をしている人のことを考えてください。中学2年生には難しいことではないと思いますよ。



中学2年生の《社会性》とは



自分の周りの人(社会)の目を意識する力・社会に認められたいと思う心を《社会性》といいます。電車の中で大きな声で話したり、路上で座り込んだりする人は、ズバリいうと《社会性がない》ということになります。3歳のときには、おもちゃ屋の前で「あれ買って〜!」といって泣き叫んでいたのに、小学生になるとそんな3歳児を「子どもだなあ」・「恥ずかしいなあ」と思うようになります。それは《社会性》が身についてきている証拠です。

中学2年生にもなると、「子どもだなあ」・「恥ずかしいなあ」と思うことにもかなり個人差があります。誰かの振る舞いを見て、「オトナだなあ」・「カッコイイなあ」と思うことはあると思いますが、反対に、同級生なのに「子どもだなあ」・「恥ずかしいなあ」と思うことはありませんか? 「まったくくない」という人は、そんな自分が周りの人から「子どもだなあ」・「恥ずかしいなあ」と思われているかもしれないことも想像してみてもどうでしょうか? もうすぐ始まる冬休みも、中学2年生として当然感じるはずの「子どもだなあ」・「恥ずかしいなあ」をしないようにすれば、自分や他人を傷つけるような失敗をすることはないはずです。どうか、安心安全な冬休みを過ごしてください。

1月の予定



7日(火)	3学期始業式 ※提出する課題・体育館シューズを忘れないように!
9日(木)	チャレンジテスト(1~5限)・木6
10日(金)	月曜日の時間割 / 1限=金1 / 避難訓練(6限)
14日(火)	全校集会 / 中央専門委員会
16日(木)	生徒議会
17日(金)	45分×6限
20日(月)	全校集会 / 1限=金2 / 6限=金3
21日(火)	木曜日の時間割
22日(水)	火234561 / 文章能力検定(6限 ※全員)
23日(木)	水曜日の時間割
24日(金)	金23456 [45分×5限] / 英語検定(放課後 ※申込者のみ)
27日(月)	実力テスト【社・数・理・英・国】 [5限まで]
29日(水)	45分×6限
30日(木)	45分×6限 / 清掃点検
31日(金)	45分×6限



保護者のみなさまへ

いよいよ2学期が終わり、冬休みが始まります。中学生にとっては何かと誘惑の多い冬休みです。冬休みの過ごし方に関しては、学校でも指導をしますが、どうかご家庭でも「これくらい大丈夫だろう」「うちは大丈夫だろう」と油断することなく、子どもたちの行動をよく見ておいていただきたいと思います。私たち大人の油断が、結果として子どもたち自身を傷つけることにつながるかもしれません。みなさまの変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。